

【阿武山古墳に眠るミイラの貴人】 聴講感想

講師 : 帝塚山大学客員教授 牟田口 章人
主催 : 茨木市国際親善都市協会 姉妹都市活動室

2022年7月2日 2:00pm~4:00pm 福祉文化会館 203号室に於いて、阿武山古墳に眠るのは藤原鎌足か？を考察するお話を牟田口客員教授から頂きました。

猛暑日でしたが、IIN会員23名、見学者2名の参加がありました。

阿武山に眠るミイラは誰？

阿武山古墳 発見と調査の経緯

① 1934年(昭和9年)4月22日

② 1982年(昭和57年)

③ 1987年(昭和62年)11月2日

まさにこの1点に絞って、①歴史的発見である昭和9年(1934年)、②俄かに注目された昭和57年(1982年)、③研究成果を世に問いニュース発表された昭和62年(1987年)と分け、放送記者であり研究者でもある牟田口先生が調べ上げた各年代の発見、綿密な取材による発掘当事者、関係者の証言や運よく発見された記録写真等、そして時代に翻弄された裏話も含めた話に魅了された2時間の講演でした。



講演を聞かれた方々も色々な思いを持たれたと思うのですが、

私は阿武山古墳に眠るのは藤原鎌足であると確信しました。

私達の住んでいるこの北摂地域には、歴史遺物、伝承伝記、名所旧跡が沢山あります。それらを一つ一つ訪ね、当時を思い描くのも歴史探索の魅力だと思います。

まだまだ知らないことがいっぱいあります。人間一生勉強とはよく言ったものです。調べて、現地へ行って、自身の五感で感じ、当時に思いを馳せることが出来る、北摂地域とはそういう処だと思います。

IIN. Working Group on Outdoor Activities が又いろいろな場所へお誘いさせていただきます。

それまで行動出来る気力体力の維持強化をよろしく願いいたします。

長谷